

もりとみず

しまね東部森林組合

30号

令和3年9月

西谷から金屋子神社へ抜ける道筋の木呂畑川。
山裾を流れる水と岩、濃い緑の織り成す溪谷の景色は美しい。

コロナワクチンの接種が進められています。九月一日現在、島根県の接種率は五六・八％。新型コロナウイルス感染症の克服にはもう少し時間がかかりそうです。昨年は経済活動の停滞から木材価格が低下しました。一転して今年はウッドショックといわれ価格の高騰です。一年ごとに乱高下する木材市況は想定を超えて悩ましい限りです。

今年度は、事業量の確保・掘り起こしと生産性の向上を取組課題としました。事業の確保は、経営の根幹をなすものですが、まず地域の現況を知ることが必須です。安来市内の森林資源の把握があつて、そこから計画策定の作業が可能になります。現在から次の世代、将来に継続していく仕事の前提条件でもあります。三年前のドローン導入から、順次ICT機器による業務改善に取り組み、計画策定における作業精度の向上、進捗スピードの向上を図ってきました。

また、生産性の向上は当組合にとつて至上命題です。今年度は三年ぶりに架線による集材・搬出に着手します。地形や地質、集材環境に適応した技術展開を図るため、ここ数年、資格取得を含め、林産事業の強化に取り組んできました。今秋から稼働を始めますが、その成果に期待をしています。

報告・令和3年度総代会

新型コロナウイルス感染症の脅威が依然として続くなか、5月31日、伯太中央交流センターを会場に令和3年度総代会を開催しました。今年度は役員選任議案をはじめ、議案は10件。いずれも、議案通り議決されました。

ここに、総代会の概要を報告いたします。

議決された提出議案

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書、損失処理案、注記表及び附属明細書)の承認について |
| 第2号議案 | 令和3年度事業計画設定について |
| 第3号議案 | 令和3年度における借入金最高限度額決定について |
| 第4号議案 | 一組合員に対する貸付金の最高限度額の決定について |
| 第5号議案 | 各種手数料率決定について(但し消費税別) |
| 第6号議案 | 余裕金預け入れ先の決定について |
| 第7号議案 | 令和3年度役員報酬の決定について |
| 第8号議案 | 森林研究・整備機構分収造林三者契約設定について |
| 第9号議案 | 役員の選任について |
| 第10号議案 | 退任役員に対する役員退任慰労金支給について |

令和2年度・事業報告

令和2年度は、世界を揺るがせたコロナウイルス感染症対策で揺れ動きました。1年を経たいま、ワクチン接種が始まりつつありますが、3回目の緊急事態宣言が発令されるなど、終息への道筋はいまだに見えてきません。昨年5月に大田市を会場に開催予定だった全国植樹祭は1年延期

で実施となりましたが、天皇陛下の行幸啓はオンラインで行われるという残念な開催となりました。また、昨年5月の森林組合総代会も緊急事態宣言下で3密を避けるため、書面議決による開催となるなど異例づくめの一年でありました。

こうした状況のなか、林業界も世界的な経済停滞の影響を受け、国内の合板材、原木

等の木材価格が低迷し、苦しい組合運営を余儀なくされました。

令和2年度の組合決算であります。最終損益は1、418千円の黒字となりました。平成28年度から4年続いた赤字からようやく最終利益の黒字計上をすることができました。しかしながら、事業損益は3、344千円の赤字であり、組合が目指している

安定的な収益構造、黒字体質への転換には未だ課題を残したままとなっています。

事業収入につきましては、242、217千円であり、昨年比3、606千円の減となりました。特に林産事業についてコロナウイルスの影響が直撃した形となり、当初計画比32・6%の達成率に終わりました。経済の停滞から木材価格の低下を引き起こし、事業予定地で市況回復まで延期することとなり、結果として事業量が大幅に落ち込まざるを得なくなりました。

林産事業は、平成28年度以降、組合経営の根幹事業として位置づけ立て直しを進めてきました。施業集約化と効率的な作業システムの確立、それに伴う事業採算性の向上をテーマにして、その成果は着実に現れてきています。令和2年度は組合の施業集約元年と位置付けられる年になりました。広瀬町坊床地区に75haの面積で伐採、搬出、造林の計画を策定し、初年度となる令和2年度は7.5haの施業に取り組みしました。今後5カ年を目途に事業を進めていく予定

であり、架線集材をはじめとする施業のシステムや技術のレベルアップを図っていきたいと考えています。

また、今年度は、伯太町卯月地区に従来の土場を拡張する形で1,000㎡の中間土場を造成しました。事業費は4、450千円で、今後の林産事業の本格展開による木材のストックヤード確保が必要があり、整備に着手しました。

平成28年度から取り組んできた組合改革は、まず管理部門経費の見直しから着手し、5年間で5人の職員と2人の臨時雇用職員の計7人減となつていきます。また、車両の自社所有から全面リースへの切り替え、事務機器のリース契約見直しなど、経常経費の削減を鋭意、進めてきました。

また、5カ年にわたって収益を圧迫してきた減価償却負担も令和2年度でヤマを越えました。平成27年度の高性能林業機械導入による減価償却費は平成28年度には15、308千円にも及び、当組合の収支を直撃し、結果、厳しい経営を余儀なくされました。

組合員及び出資金 (単位：円)

区 分	組合員数	出資口数	出資金総額
2年度末現在	3,716	386,923 口	193,461,500 円

部門別損益計算書 (R2.4.1 ～ R3.3.31) (単位：千円)

部 門		R2 年度実績
指 導 事 業	収 益	
	費 用	652
販 売 事 業	収 益	21,216
	費 用	19,094
森林整備事業	収 益	221,001
	費 用	178,731
事 業 収 益 合 計		242,217
事 業 費 用 合 計		198,477
事業総利益		43,740
事業管理費	費 用	47,084
事業外	収 益	5,952
	費 用	5,631
特 別	収 益	4,441
	費 用	
税引前当期利益		1,418

貸借対照表 (令和3年3月31日現在) (単位：千円)

資産の部	金 額	負債・資本の部	金 額
現金・預金	79,814	買掛・未払金	31,346
売掛・未収金	93,564	その他	6,505
棚卸資産	2,945	流動負債合計	37,851
その他	36	転貸資金借入	
		諸引当金	7,848
流動資産計	176,359	固定負債計	7,848
有形固定資産	80,557	負債合計	45,699
無形固定資産	358	出資金	193,462
転貸資金貸付		法定準備金	22,420
外部出資	12,329	特別積立金	35,086
固定資産計	93,244	当期末処分剰余金	△ 27,071
		(内当期剰余金)	1,121
		資本準備金	7
		資本合計	223,904
合 計	269,603	合 計	269,603

令和2年度損失処理 (単位：円)

摘 要	合 計
I 当期末処理損失金	27,071,051
II 次期繰越損失金	27,071,051

各種手数料の料率(但し消費税別)

区 分	基 準	料 率
造林補助金取扱手数料	補助金	10.0%以内
受託森林整備手数料	事業費	20.0%以内
受託林産手数料	売上高	15.0%以内
転貸資金等取扱手数料	転貸額	1.0%以内
購買・販売手数料	売買価格	15.0%以内
諸証明手数料	1 件につき	5,000 円以内
林地供給手数料		
契約金額 100 万円未満	契約金額の	10%以内
// 100 万円以上～200 万円未満	//	9%以内
// 200 万円以上～300 万円未満	//	8%以内
// 300 万円以上～400 万円未満	//	7%以内
// 400 万円以上～500 万円未満	//	6%以内
// 500 万円以上	//	5%以内
測量及び調査費		実費

令和3年度・事業計画

組合の令和3年度のテーマは「絶えざる工夫、絶えざる改善、絶えざる進歩」です。組合は大きな課題を抱え、それを解消していく途上にあ

れから組合が直面する課題を一つずつ克服しながら、地域の森林資源を守り、引き継いでいく役割を認識しながら組合員のみなさまの役割に立ち、真に信頼される組合となるために、今後ともご理解、ご協力を切に願います。次第であります。

短期間に施業完了をどう図っていくか。技術の工夫や技量の向上、業務の効率性をどう向上させていくか、創意や工夫、改善への不断の努力が必

り、赤字体質からの脱却、安定経営への歩みを進めねばなりません。今年度の重点課題は二点です。一つ目は「事業の確保・掘り起こし」で、どこにどのような山があるか、安来市内の山林に精通することが事業の確保につながり、計画策定につながります。二つ目は、「労働生産性の向上」です。出材生産量をどう上げるか。

採算性の向上を最優先し、事業の不採算要因や項目の洗い出しや徹底見直しをし、その是正を図っていきます。また、業務改善に効率化、

要です。今年度はこの二点を強化するため、4月から参事職の採用をいたしました。長年、県職員として勤務し、林業技術はもとより林業全般への深い見識がこれからの当組合に必要な人材と判断し、招きました。令和3年度の事業量は299、156千円を計画しまし

た。昨年度とほぼ同じ計画額であります。3年度は事業組合での生産体制を需要に合わせる形でコンテナ苗生産のための灌水施設を整備し、省力化により生産の効率化を進

めす。そして計画策定の迅速化を図るため、平成29年度から順次、ドローンの導入、森林三次元解析装置の導入と組合業務のICT化を進めてきました。今年度はさらにドローンの撮影データを解析し、造林計画やゾーニング、作業道の設計シミュレーションに展開する機器を導入します。

また、施業集約化の進捗により植林面積が拡大し、その結果、苗の需要も増加します。組合での生産体制を需要に合わせる形でコンテナ苗生産のための灌水施設を整備し、省力化により生産の効率化を進

めす。いまだ道半ばの経営改善、安定した黒字体質の組合にはさらに知恵を絞り、汗をかかねばなりません。その先にある組合員のみなさまのための森林組合であり、地域の森林資源を継承し、地域の振興につながる組合でなくてはなりません。絶えざる改革こそがそのいちばんの近道と信じ、役職員ともに取り組んでまいります。引き続き、関係機関のご指導、ご支援とともに組合員のみなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

新しい役員が決まりました

五月三十一日、伯太中央交流センターで開催された通常総代会において理事9名、監事3名の選任について議決されました。新しい理事、監事の任期は3年で、令和6年の通常総代会までとなります。

通常総代会の後、直ちに理事会が開催され、代表理事組合長に伊藤耕治理事が選任され、代表監事には湯浅富夫監事が監事会により選出されました。

委員会構成

事業委員会	総務委員会
◎塩見 秀雄 ○澤田 俊弘 加納 健一 足立 昌二	◎岩田 勇夫 ○山根 邦生 青戸 昭一 安部 利夫
監事会	林地供給委員会
◎湯浅 富夫 井上 浅雄 岩田 至正	◎青戸 昭一 ○岩田 勇夫 塩見 秀雄

◎印は代表監事 ○印は委員長 ○印は副委員長

理 事



理事
山根 邦生
(広瀬地区)



理事
岩田 勇夫
(広瀬地区)



理事
加納 健一
(広瀬地区)



理事
塩見 秀雄
(伯太地区)



理事
足立 昌二
(伯太地区)



理事
青戸 昭一
(安来地区)



代表監事
湯浅 富夫
(安来地区)



理事
澤田 俊弘
(広瀬地区)



監事
井上 浅雄
(伯太地区)



理事
安部 利夫
(伯太地区)



監事
岩田 至正
(広瀬地区)

次世代に引き継ぐ経営を

代表理事組合長 伊藤 耕治



この度、理事会において代表理事組合長の選任を受け

林業の置かれた厳しい環境下で経営経費の削減、新規事業の創出、事業進捗の効率化など取り組みを進め、令和2年度に至つてようやく最終黒字を実現しました。

ました。平成27年度の事業赤字転落を契機に組合の恒常的な黒字体質への転換を目指し5年が経過しました。

昨年は、コロナウイルス感染症の影響で材価が下がり林業も大きな痛手を被りました。一転して今年は建材需給

がひつ迫して高値に吊り上がるといふように価格が乱高下する投機状況が生まれもしました。

当組合は、林業の原点である植える、育てる、伐る、また植えるという循環を維持しながら、次の世代に向けて経営の健全化を図っていきます。引き続き組合員の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

経営安定化に最大限の努力を

参事 藤田 勝



本年四月一日付で参事としてしまね東部森林組合に採用頂きました藤田勝でございます。

三月末まで島根県職員（林業専門職）として四十年、主

に林業技術者の養成、効率的な木材生産システムの構築に向けた技術指導等の業務を担当して参りました。今後、労働生産性の向上による事業収支の改善等森林組合の経営安定化に向け最大限努力する所存でございます。ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

総代のみなさんが決まりました

総代の任期満了にともない、新しい総代を決めるための選挙が行われました。

令和2年11月10日に告示、11月19日に総代選挙の立候補を締め切りました。その結果、立候補

者が定数のため、投票は行われず当選となり、210人の総代のみなさんが決まりました。

新しい総代の任期は3年。令和2年12月4日から令和5年12月3日までとなります。

□選挙区ごとの定数

- ・第1区（安来地区） 32人
- ・第2区（広瀬地区） 110人
- ・第3区（伯太地区） 68人

※しまね東部森林組合の組合員数は、令和3年3月末現在で3,716人。定款により総代数は210人です。

第1区(安来 32名)

地区	氏 名
荒島地区	足立 克己
	森脇 悟
	頼田 明文
	藤原 幸男
	成相 良二
	原 晶紀
	長谷川恒夫
	岩田 健志
	近藤 貞男
	田中 實
	板持 博文
	田中 和夫
島田地区	矢田潤一郎
	角森 恵治
	福田 渉
	岩崎 逸男
	倉敷 幹雄
	石原 淳
吉田地区	岩崎 哲久
	前田 知友
	深田 義晴
	廣江 己幸
	飯塚 舜介
	門脇 功
	佐伯 満也
	坂田 宣雄
	作野 博規
	石橋 裕
	天野 博夫
	岡屋 榮六
	湯浅 富夫
	山本 昌利

※森林組合法では第65条3項により、総代数は組合員数800人を超える組合にあっては200人以上とされています。

第2区(広瀬 110名)

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名
比田地区	加藤 克己	布部地区	北川 敬祐	山佐地区	平井 千也	赤屋地区	大塚 真一
	原田 光治		安部 康則		鴨木 秀規		細田 昇
	上廻 肇		安部 喜衛		加藤 英俊		野々村正司
	荒川 貞則		安部 光行		鴨木 基人		秦 光子
	岩田 定房		家島 栄		山根 慎		石原 徳
	堀江 吉彦		宇山 真喜		仙田 修一		小原 峯夫
	植田 明實		宇山 正人		守田 博一		三輪 重実
	樋野 春美		祖田 薫		恩田 有二		秦 浩恭
	若林 秀樹		北川 皓玄		須藤 操		福田 和文
	横山喜久雄		石飛 徳夫		草信 高規		永江 一美
	加納 吉則		遠藤 春二		山根 君夫		小林 智弘
	板垣 隆之		加藤 俊幸		山根 峰幸		山本 義美
	若林 三郎		岩田 紀昌		西田 稔生		卜藏 俊朗
	岩田 幹夫		岩田 昭二		足立 邦夫		西村 武壽
比田地区	藤原 康孝	山佐地区	細田 光輝	広瀬地区	池田 誠治	井尻地区	妹尾 光雄
	平田登志夫		細田 雄次		倉井 宏		藤田 美咲
	古澤 純夫		家島 幹夫		足立 正人		篠田 義之
	小池 博己		小林 良広		清山 英晴		山本 善万
	中前 勅治		濱田 悦男		近藤 秀彦		足立 昌二
	加藤 進		澤田 郁男		石田 昭二		梶谷 正明
	柴田 正範		西村 育朗		飯塚 寛		長尾 宏一
	森藤 洋二		飛田 武治		横地 康一		秦 和男
	蒲生 重夫		富田 茂喜		岩田 真和		西郡 愈
	葉山 憲司		澤田 芳晴		須山 益吉		遠藤 泰史
	藤内 聖祥		北川 正幸		石田 隆		増原 信夫
	田邊 達祐		澤田 伸二		永澤 利治		門脇 正美
	祖田 敏至		石原 一夫		清山 賢治		成田 興平
	庄見 忠男		北川 謙介		宇山 敏朗		妹尾 仁寿
布部地区	安達 則行	山佐地区	加納 義則	井尻地区	吉村 公夫	母里地区	西谷 良夫
	石田 照雄		加納 義光		古山 正敏		山岡 政信
	中西 邦夫		野津 昭雄		今井 幹雄		秋間 康志
	小林 一夫		難波 秀夫		水谷 幸男		伊豆名公夫
	鴨木 収生		加納 実		永島 繁		長谷川知行
	谷森美智生		石倉 刻夷		坂田 裕二		渡辺 紀昭
	加藤 一茂		小林 浩		市川 健治		赤名 行治
	加藤 光治		岩田 至正		吉野 静夫		細田 智行
布部地区	安部 大樹	山佐地区	加納 博	井尻地区		母里地区	細田 直人

第3区(伯太 68名)

地区	氏 名	地区	氏 名
赤屋地区	大塚 真一	安田地区	山岡 公代
	細田 昇		花田 俊成
	野々村正司		原崎 公男
	秦 光子		八幡 治夫
	石原 徳		吉木 信幸
	小原 峯夫		遠藤ハツエ
	三輪 重実		永野 裕之
	秦 浩恭		高岡 良樹
	福田 和文		高橋 亨
	永江 一美		山本人貴男
	小林 智弘		千代田良和
	山本 義美		小松原克己
	卜藏 俊朗		稲田 政美
	西村 武壽		原 秀雄
井尻地区	妹尾 光雄	母里地区	宮本 徹
	藤田 美咲		本田 京一
	篠田 義之		仁田イツ子
	山本 善万		井上 浅雄
	足立 昌二		梅瀬 倫住
	梶谷 正明		稲田 郷
	長尾 宏一		山田 清人
	秦 和男		石丸 忠伸
	西郡 愈		遠藤 賢二
	遠藤 泰史		北尾 正博
	増原 信夫		奥野 勇
	門脇 正美		山尾 篤志
	成田 興平		久保田 誠
	妹尾 仁寿		才原 誠司
	西谷 良夫		稲田 節哉
井尻地区	山岡 政信	母里地区	福田 富雄
	秋間 康志		梅瀬 東
	伊豆名公夫		
	長谷川知行		
	渡辺 紀昭		
	赤名 行治		
井尻地区	細田 智行	母里地区	
	細田 直人		



RYUKYU AZ

除草剤

鳥のイラスト

Barcode

竹や笹、ヨモギ、ススキ、多年生の雑草などの除草に効果。
※医薬用外劇物です。購入には印鑑が必要です。



笹やススキ、チガヤに効果。

- ・赤箱 1,350円(税込1,485円)
- ・緑箱 1,130円(税込1,243円)



野外用蚊取線香専用の防虫器です。森林香は巻きが厚いので専用の防虫器が必要です。

□**地区委員の変更**…地区の事情等により地区委員の変更をされた場合は手続きをしてください。



スズメバチは女王バチだけが越冬し、翌年の春から産卵をして、その数を増やし、巢

恐ろしいスズメバチ。今回は、森林組合の駆除事業についてお知らせします。



巢は軒下や天井裏に多い

づくりも本格化していきます。そのため、7月ごろから10月にかけて巣の大きさも一気にな大きくなり、ハチの数も多くなります。さらに攻撃性も増します。ここに至っては、周囲への危険度はさらに高まり、駆除を急がねばなりません。

巢は雨や風など、天候の影

響が少ない場所につくりま
す。天井裏や軒下、木の陰な
どに多いのはそのためです。

4月、5月ごろはハチの数

も少なく、巢も小さいので見落としがちですが、スズメバチが近くで飛ぶ姿を頻繁に見かけるようになったときには注意深く飛んでいく先を観察することが大事です。

巢がまだ小さいときには駆

除も容易です。巣を発見したらすぐにご連絡ください。

駆除には、まず連絡を

① 連絡をいただき職員が現場を確認にうかがいます。



その攻撃性から最も危険といわれるキイロスズメバチ

② 巢の大きさや場所、高さなどを見て、費用の見積りをします。

③ 駆除作業は日が暮れてからします。

※日中は活動が活発なので、夜、ハチが巣に帰ってくるのを待ち、まとめて捕獲、駆除をするためです。

駆除チームは5人

駆除チームは5人

巢のある場所や大きな
ど、現場の状況に応じて人員



特殊な防護服を着用して作業をします。服の隙間をふさいで、針も通らない素材です。

連絡・ご相談は
しまね東部森林組合へ
TEL 0854-13212680

を配置します。また、駆除に必要な用具、装備を準備したうえで作業をします。

特にスズメバチの針は非常に強力で、衣服も簡単に通してしまいます。服を着ているから大丈夫ということはありません。そして、その毒はとても危険です。特殊な防護服を着用のうえ作業をします。